

# 避難を円滑に行うための対応策②

- 宮城県は、原子力災害に関する基礎知識や原子力災害発生時にとるべき行動などについてまとめた「原子力防災の手引」を作成。外国人に対しても周知できるよう、英語版も作成。
- また、「原子力だよりみやぎ」等による広報活動を実施。「原子力だよりみやぎ」では、<sup>おながわ</sup>女川原子力発電所周辺地域の環境影響の調査結果や、原子力防災の取組などを広く住民に情報提供するため、<sup>おながわ</sup>女川原子力発電所から概ね30km圏内に位置する行政区内に年4回全戸配布。
- 原子力防災訓練のリーフレットにも「原子力防災のしおり」として原子力災害発生時にとるべき行動について掲載するなど、継続的な周知を実施。



【原子力防災の手引(日本語版・英語版)】

ホームページ上で閲覧可能  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/tebiki.html>



【原子力だよりみやぎ】

ホームページ上で閲覧可能  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/o-gensiryokudayori.html>

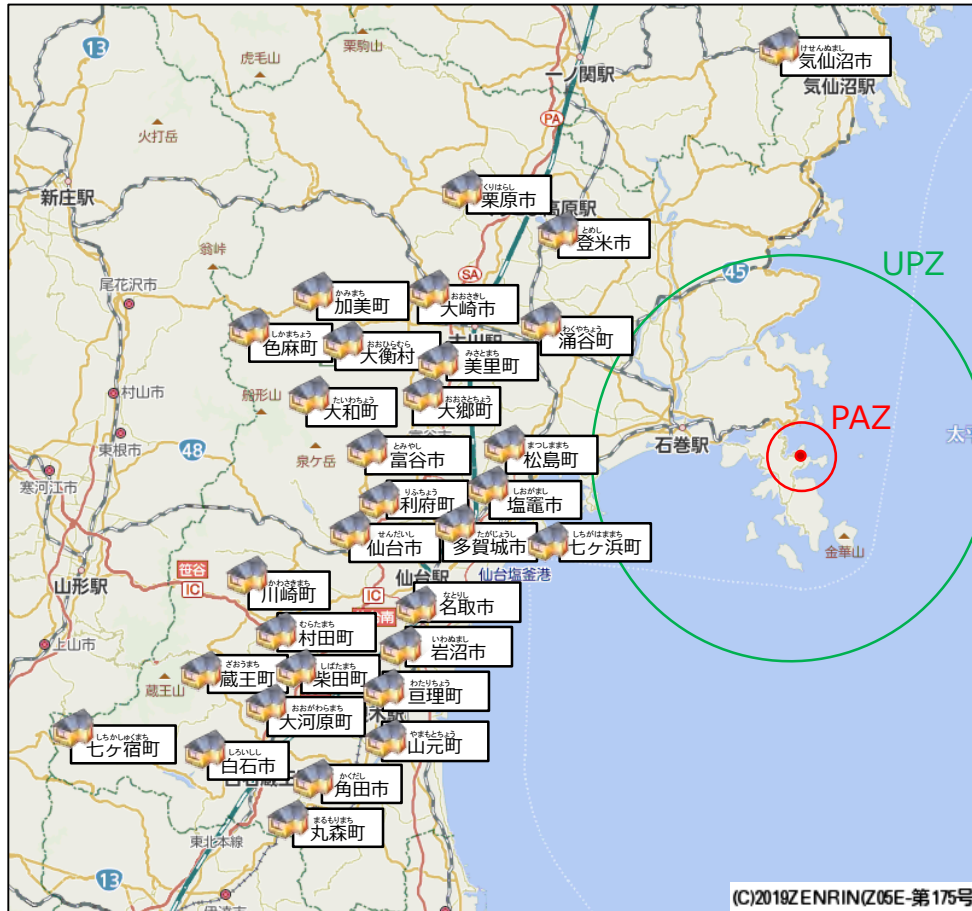


【原子力防災訓練リーフレット】

# 自然災害等により避難先施設が被災した場合の避難先施設の調整

- 自然災害等により、避難先施設が使用できなくなった場合は、UPZ外の県内避難先施設(合計446施設)を候補として、宮城県及び県内の市町村が調整のうえ、避難先施設を決定する。
- 宮城県内において避難先施設が確保できない場合には、国、全国知事会、災害時応援協定を締結している東北各県等と調整を行う。

## 宮城県内における避難先施設 (UPZ外)



市町村	受入施設数	受入可能人数
仙台市	91	70,108
塩竈市	1	1,150
気仙沼市	12	5,000
白石市	8	3,563
名取市	14	5,210
角田市	4	2,000
多賀城市	12	22,050
岩沼市	16	7,902
登米市	50	43,645
栗原市	46	23,040
大崎市	60	39,195
富谷市	10	2,620
蔵王町	4	1,730
七ヶ宿町	5	450
大河原町	5	1,300
村田町	2	850
柴田町	6	1,930
川崎町	3	1,050
丸森町	8	1,700

市町村	受入施設数	受入可能人数
亶理町	11	2,902
山元町	3	1,054
松島町	2	500
七ヶ浜町	2	2,000
利府町	6	1,548
大和町	5	5,790
大郷町	3	1,680
大衡村	22	2,796
色麻町	8	2,200
加美町	18	3,821
涌谷町	5	2,542
美里町	4	3,780
<b>合計</b>	<b>446箇所</b>	<b>265,106人</b>

: 避難受入市町村

(C)2019ZENRIN(Z05E-第175号)

## 6. 準PAZ内の<sup>おしか</sup>牡鹿半島における対応

### <対応のポイント>

PAZ内を通過しなければ避難ができないことから、準PAZとし、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態における防護措置については、PAZにおける対応と同様に実施。